

平成27年度 豊明市地域包括ケア連絡協議会 代表者会 議事録

日 時 平成28年3月22日(火) 14時～

場 所 豊明市役所2階 会議室1

〔出席委員〕7名（2名欠席） 〔傍聴〕7名

1 あいさつ（小浮市長）

2 議題

（1）平成27年度地域包括ケア連絡協議会各部会の取組みについて

事務局より資料1に基づき説明。

（2）豊明市における地域包括ケアの方向性

水野会長より話題提供。

（3）その他

事務局より資料2に基づき説明。

平成28年度、地域包括ケア連絡協議会の現体制は残しつつ具体的な課題検討のため実務者レベルの会議を適宜行う予定。

<意見交換等>

- ・地域包括ケアシステムが構築されていると言う一方で、現場では生きていないとの実感あり。システムの一方的な提供だけでなく、市民と双方向で話し合いながら現場で起こっていることと統合されてこそ意味あるものになる。
- ・その一旦として、個人情報保護は大きな壁。地域での居場所づくりや事業者協定により、地域で支える体制ができつつある一方、例えば入院後の本人状況がつかめない等、要支援者を地域で支えるために必要な情報が得られない現状も。うまく地域・関係者間で情報共有できるような理解が必要。
- ・地域の拠点を増やしていくために、空き家・空き店舗の活用検討を。市民協働課で一部補助を来年度より行う予定。
- ・少ない人材でどう地域を支えていくかという視点がますます重要になる。豊明団地に居住する学生の人材育成は注目されているところだが、潜在看護師の再雇用促進、前期高齢者の活躍など人材確保に向けて各組織が役割を担っていくことも必要になる。
- ・2025年に向け、プログラム法で示される通り地域への課題が順に降りてくる。健康寿命延伸を妨げる要因分析、2025年問題と地域特有課題の抽出をもとに、バックキャスト的視点から市をあげて共通ビジョンを策定し、具体的取り組みと紐付けていく。そのためには、高齢者福祉課だけが担う現状から行政間の横連携へ、また市民との双方向で、広くまちづくりの視点を持って取り組むことが今後の大きな課題である。